# 救命救急センター (救命救急科)



センター長 志馬 伸朗

専門医資格等

日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医

日本麻酔科学会指導医•専門医•認

定医

麻酔科標榜医

日本感染症学会感染症専門医

日本化学療法学会抗菌化学療法指

導医/認定医

日本外科感染症学会外科周術期感

染管理暫定教育医/認定医

日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医

日本ペインクリニック学会専門医

PALSインストラクター

Infection control doctor

#### 専門分野

集中治療医学

救急医学

感染症学

麻酔科学

得意疾患

急性呼吸不全

重症感染症

小児救急•集中治療

## □ スタッフ

平成25年10月1日時点

			氏	名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
診 :	療科	長	笹橋	望	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本胸部外科学会認定医 日本胸部外科学会指導医	救急医学 心臓血管外科学	ER
医		長	別府	頁	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本麻酔科学会指導医・専門医・認定医 麻酔科標榜医 JATECインストラクター FCCSインストラクター	集中治療麻酔	重症感染症
医		師	田中	博之	日本内科学会認定医 日本医師会認定産業医 呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 JATECインストラクター ITLSインストラクター JPTECインストラクター ICLSインストラクター 日本DMAT隊員・統括DMAT	救急、一般	呼吸器疾患、災害 医療
医		師	吉田	浩輔	日本救急医学会専門医 日本内科学会認定医	救急、集中治療	重症感染症
医		師	堤	貴彦	麻酔科標榜医	救急、麻酔	外傷
専	修	医	井上	京		救急、集中治療	重症感染症
救顧	命	科問	金子	一郎	帝京大学救急医学講座 准教授 日本救急医学会指導医 日本外科学会指導医	心肺蘇生法 外傷 救急医学	

## □ 診療科の特徴

施設認定等 日本救急医学会専門医認定施設 日本集中治療医学会専門医認定施設

- 1. 京都南部の重症患者を受け入れる拠点として活動。
- 2. 重症多発外傷、重度熱傷、敗血症性ショックなど重症患者を集中治療室にて管理。
- 3. 循環器、脳卒中など専門各科と協力し、質の高い医療を提供。
- 4. 積極的に研修医に救急外来で初期対応をさせ、教育。

### □ 主な対象疾患

敗血症/重症感染症、多発外傷、重症熱傷、急性呼吸不全、中毒

### □ 診療(業務)内容

救急搬送症例に対する初期外来対応、専門診療科紹介、入院加療など

重症救急患者への集中治療

院内重症患者に対する集中治療

他院からの重症紹介症例の受け入れ

多施設との症例検討会や情報交換

各種災害訓練の実施と参加

蘇生講習などへの参加と指導

研修医教育(京都大学、京都府立医科大学病院研修医を含む)

臨床医学教育(京都大学、京都府立医科大学、橘大学)

コメディカルに対する教育研修

市民に対する救急啓蒙教育

消防局との連携ならびに情報交換

医師会、他病院との連携ならびに情報交換

## □ 診療実績(平成25年度)

#### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
14.5名	1,001名	6.6日

#### 外来患者数

1日平均患者数	
8.3名	

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演 者・演 題・学 会 名
国際学会	Shime N, Kosaka T, Nakanishi M, Fujita N. Pseudomonas aeruginosa is still a major threat in Japanese hospital: results from a single-institute, nosocomial bacteremia database analysis. The 13th. Joint scientific congress of the Korean society of critical care medicine and Japanese society of intensive care medicine. 2013.4.27, Seoul
国際学会	inoue k, kataoka y, yoshida k, tanaka h, sasahashi n, beppu s, shime n, kaneko i. a case report of rhabdomyolysis and renal failure from acute purulent myositis the 13th. joint scientific congress of the korean society of critical care medicine and japanese society of intensive care medicine. 2013.4.27, seoul
国際学会	Umenai T, Shime N, Asahara T, Nomoto K. The efficacy of administration of Bifidobacterium breve on postoperative recovery in neonates undergoing congenital heart surgery: a pilot trial. The 13th. Joint scientific congress of the Korean society of critical care medicine and Japanese society of intensive care medicine. 2013.4.27, Seoul
国際学会	Shime N, Kosaka T, Nakanishi M, Fujita N. Nosocomial pediatric bacteremia: a single-institute survey. The 28th. International Congress of Chemotherapy and Infection. 2013.6.7. Yokohama
国際学会	Inoue K, Fujino M, Kato T, Tsutsumi T, Yoshida K, Tanaka H, Beppu S, Sasahashi N, Shime N. A case of systemic capillary leak syndrome with severe rhabdomyolysis. The 7th Asian Conference on Emergency Medicine, 2013.10.23-25, Tokyo
国際学会	Tanaka H, Inoue K, Tsutsumi T, Beppu S, Sasahashi N, Shime N. A case of cultivator accident trauma. The 7th Asian Conference on Emergency Medicine, 2013.10.23-25, Tokyo
国際学会	Tanaka H, Inoue K, Tsutsumi T, Beppu S, Sasahashi N, Shime N. A case of penetrating neck and abdominal injury. The 7th Asian Conference on Emergency Medicine, 2013.10.23-25, Tokyo
国際学会	Morisaki H, Shime N, Hayashida K, Nagamatsu S, Yamashita K; the members of social insurance study committee and working group on manpower investigation. Manpower and medical economy in Japan ICU. International symposium 3, The international scientific congress of t intensive care and critical care in Kyoto 2014, 2014.3.1, Kyoto

国際学会	Tanaka H, Shime N, NSasahashi N, Beppu S, Yoshida K, Inoue K, Tsutsumi T. A retrospective comparison of the intra aortic balloon pumping catheter insertion at Kyoto Medical Center. The 14st joint congress of the Japan society of intensive care medicine and Korean Society of Critical Care Medicine, 2014.3.1, Kyoto
国際学会	Shime N, Bokui M. Should we keep vancomycin trough concentrations at >15mg/L?. The 14st joint congress of the Japan society of intensive care medicine and Korean Society of Critical Care Medicine, 2014.3.1, Kyoto
国内学会	志馬伸朗. Surviving sepsis campaign guidelines2012~日本の小児医療現場でどう使うか. 第27回日本小児救急医学会総会. ランチョンセミナー2, 2013.6.14, 宜野湾
国内学会	志馬伸朗. 人工呼吸器関連事象 (VAE): 定義の紹介と研究の方向性. 第回日本呼吸療法医学会. 2013.7.20, 東京
国内学会	志馬伸朗. 救急かなりヤバイ感染症①. 救急感染症塾. 第41回日本救急医学会総会. 2013.10.21, 東京
国内学会	志馬伸朗. 救急・集中治療現場で体温をどう評価し、どう使うのか. 第41回日本救急医学会総会ランチョンセミナー. 2013.10.22, 東京
国内学会	志馬伸朗. 感染症科医への敗血症ガイドラインの紹介. 第61回日本化学療法学会西日本支部総会, 第56回日本感染症学会中日本地方会学術集会, 第83回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2013.11.8大阪
国内学会	志馬伸朗. ICUでの重症感染症治療. 第26日本外科感染症学会ランチョンセミナー4. 2013.11.25, 神戸
国内学会	志馬伸朗. 人工呼吸器関連肺炎. 第175回ICD講習会「医療関連感染に対する標準的予防対策」. 第26日本外科感染症学会. 2013.11.27, 神戸
国内学会	志馬伸朗. 敗血症診療のポイント: ガイドライン以上、PMX未満?. 日本エンドトキシン自然免疫研究会, 2013.12.6, 大津
国内学会	志馬伸朗. 集中治療医にしかできない感染症診療をしよう. シンポジウム: 原点から未来へ~21世紀の集中治療はどうあるべきか. 第40回日本集中治療医学会総会. 2013.2, 松本 抄録: 日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)20巻Suppl. Page179(2013.01)
国内学会	志馬伸朗. ステロイドは、"捨てるど"・CONの立場から. ディベートセッション・重症肺炎にはステロイドを使用する?. 第40回日本集中治療医学会総会. 2013.2, 松本. 日本集中治療医学会雑誌20巻Suppl. Page283(2013.01)
国内学会	清水一好,清水直樹,本間順,梅垣修,浅野真依子,宇城敦司,徳平夏子,安藤寿,立石順久,志馬伸朗.わが国のECMO症例集積とELSOとの比較.シンポジウム:小児ECMO治療最前線.第40回日本集中治療医学会総会.2013.2,松本 (日本集中治療医学会雑誌20巻Suppl. Page187(2013.01)
国内学会	川口敦, 志馬伸朗, 永松聡一郎, 山下和人, 高橋弘, 幸部吉郎, 志水太郎, 萩原佑亮, 三木 智子. 学会内制度調査で明らかになった急性期医療における医療資源の偏在と将来予測: 循環器救急医療実態アンケート調査と麻酔科医のマンパワーに関する調査を交えて: 日本における小児集中治療労働力調査・集中治療医からのアプローチ. 小児集中治療委員会報告:第40回日本集中治療医学会総会. 2013.2, 松本(日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)20巻Suppl. Page290(2013.01)
国内学会	清水義之, 竹内宗之, 井上美帆, 大崎真樹, 清水一好, 杉村洋子, 徐民恵, 多賀直行, 田畑 雄一, 戸田雄一郎, 林拓也, 松井彦郎, 水城直人, 水野圭一郎, 水野裕美子, 祖父江和哉, 志馬伸朗. 小児集中治療室(PICU)における小児心臓手術後の栄養投与方法の調査. 小児集中治療委員会報告:第40回日本集中治療医学会総会. 2013.2, 松本(日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)20巻Suppl. Page288(2013.01)
国内学会	川口敦, 志馬伸朗, 永松聡一郎, 山下和人, 高橋弘, 幸部吉郎, 志水太郎, 萩原佑亮, 三木 智子. 集中治療労働力調査 小児集中治療における現状、意識調査. 第40回日本集中治療医学会総会. 2013.2, 松本(日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)20巻Suppl. Page288(2013.01)
国内学会	松田直之,織田成人,相引真幸,池田寿昭,今泉均,遠藤重厚,落合亮一,小谷穣治,志馬,伸朗,橋本悟,西田修,野口隆之,平澤博之. SEPSIS REGISTRY報告.第40回日本集中治療医学会総会. 2013.2,松本.日本集中治療医学会雑誌20巻Suppl. Page288(2013.01
国内学会	志馬伸朗. 日本版敗血症診療ガイドライン「抗菌治療」部分の使い方. シンポジウム: 敗血症ガイドラインを使いこなすために. 日本麻酔科学会第60回学術集会. 2013.5.25, 札幌
国内学会	志馬伸朗、重症小児の集約拠点について関連諸学会はどのように見ているの?日本集中治療医学会小児集中治療委員会より、第27回日本小児救急医学会総会、小児救急・集中治療ワークショップ、パネルディスカッション2,2013.6.14-5,宜野湾
国内学会	志馬伸朗. 新型インフルエンザへの対応. 緊急フォーラム:H7N9に如何に備えるか?第27回日本小児救急医学会総会. 小児救急・集中治療ワークショップ. 2013.6.16, 宜野湾
国内学会	志馬伸朗. 感染症診断と抗菌治療. シンポジウム 4 「敗血症 (セプシス)治療の標準化」, 第26日本外科感染症学会. 2013.11.26, 神戸
国内学会	志馬伸朗. 侵襲性カンジダ症の危険因子と診断. ワークショップ2「外科・救急領域における深在性真菌症の診断と治療」, 第26日本外科 感染症学会. 2013.11.25, 神戸
国内学会	志馬伸朗. 敗血症における抗菌治療. 第41回日本集中治療医学会学術集会イブニングセミナー4: 重症敗血症に対する集中治療. 2014.2.28, 京都
国内学会	志馬伸朗. 日本での小児敗血症診療における合意意見. 委員会報告 2 小児集中治療委員会報告:第41回日本集中治療医学会学術集会: 重症敗血症に対する集中治療. 2014.2.28, 京都
国内学会	清水義之, 志馬伸朗. 小児集中治療室(PICU)における小児心臓手術後の栄養投与法の調査(第2報). 委員会報告 2 小児集中治療委員会報告:第41回日本集中治療医学会学術集会:重症敗血症に対する集中治療. 2014.2.28, 京都
国内学会	志馬伸朗. ICUにおける多職種連携~その落とし穴をあえて考える. パネルディスカッション 3 ICUにおける職種間連携. 第41回日本集中 治療医学会学術集会. 2014.3.1, 京都
国内学会	清水義之, 志馬伸朗, 小谷穣治. 日本版ICUにおける栄養管理ガイドライン(小児の栄養管理について). シンポジウム4日本版ICUにおける栄養管理ガイドライン作成. 第41回日本集中治療医学会学術集会. 2014.3.1, 京都
国内学会	志馬伸朗. 人工呼吸器関連肺炎の予防策. シンポジウム13人工呼吸器関連肺炎の予防戦略アップデート第29回日本環境感染学会. 2014.2.14, 東京
国内学会	田村彰広, 平位秀世, 佐竹早紀子, 志馬伸朗, 佐和貞治. 転写因子C/EBP β はカンジダ感染後の造血幹細胞・骨髄系前駆細胞の増殖を制御する. 第87回日本感染症学会総会. 2013.6.5ー6, 横浜 海海原奈 藤田真久 中西野樹 藤石緑美子 ま居伸朗 小阪原虫 山田寺園 小奈知明 米院における 伊藤原 (PC 原) かちに関する 検討
国内学会	渡邉侑奈,藤田直久,中西雅樹,藤友結美子,志馬伸朗,小阪直史、山田幸司,小森敏明. 当院における侵襲性GBS感染症に関する検討. 第87回日本感染症学会総会. 2013.6.5-6, 横浜
国内学会	吉田 浩輔, 井上 京, 田中 博之, 堤 貴彦, 別府 賢, 笹橋 望, 志馬 伸朗. 高齢者の重症大動脈弁狭窄症に伴った心不全にNasal High Flowが奏功した一例. 第41回日本救急医学会総会. 2013.11. 東京 抄録: 日本救急医学会雑誌24(8);698
国内学会	藤野 光洋,田中 博之,井上京,吉田 浩輔, 堤 貴彦, 別府 賢, 笹橋 望, 志馬 伸朗. 鑑別診断および治療に難渋した、急性循環不全をきたした Systemic capillary leak syndrome. 第41回日本救急医学会総会. 2013.11. 東京 日本救急医学会雑誌24(8);674
国内学会	堤 貴彦, 井上 京, 吉田 浩輔, 田中 博之, 別府 賢, 笹橋 望, 志馬 伸朗. 心肺停止蘇生における電動式骨髄針の有用性. 第41回日本救急医学会総会. 2013.11. 東京 日本救急医学会雑誌24(8); 514

国内学会		
国内学会 の異な。第7回巨人化学発生や音图は表現後と 2013 12. 大版 田内学会 性間等、子女性、自由等性、巨大力、自由等性、巨大力、电内性、有效人们的人类性性的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的人们的	国内学会	新しい専門医制度に対応する救急医学の教育プログラム 小児救急の専門医が持つべき知識や技術とは:小児救急医学会医師会員の
国内学会 国内学会 国内学会 国内学会 国内学会 国内学会 国内学会 国内学会	国内学会	
国内学会	国内学会	
国内学会	国内学会	
国内学会 物理推進、無原物的人工神疾器関連事業(VAE) サーベーフンスの設め、第41回日本集中治療医学会学所集会、2014.227、京都 国内学会 地馬神郎、塚麻庐の始配治療、周回日条件や何医学会ど護療力会育育演。2013.76、神 国内学会 地馬神郎、塚麻庐の始配治療、周回日条件や何医学会ど護療力会育育演。2013.76、神 国内学会 地馬神郎、小阪国史、中国雑誌、熊女教美子、山田寺司、総田道久、小児県内衛血症の解析、第4回MFSAフォーフム、2013.71.14、東京 川内学会 地馬神郎、米市の歌山底に中か砂線定義からカイドラインまで、伏瓦原剛会シアキョセミナー、2013.71.71、京都 国内学会 出馬神郎、大田院園は藤女女1137・97・77・11・新しいサーベイランスから砂筋治療ストラテジーまで、第11回人工呼吸セミナー・加加・2013.72.72、同山 四内学会 北馬神郎、大田院園は藤女女の1137・97・77・新しいサーベイランスから砂筋治療ストラテジーまで、第11回人工呼吸セミナー・加加・2013.72.72、同山 国内学会 土馬神郎、大田院園で発生できた。第20年20月間が開発研究と、2013.82.92 原理 国内学会 土馬神郎、新藤を長くしない人工事歌音画のポイント、高の高い人工等歌音を担合して、2013.82.92 原理 国内学会 土馬神郎、新を集くしない人工事歌音画のポイント、高の高い人工等歌音を担合して、2013.82.92 東京 国内学会 土馬神郎、新を集くしない人工事歌音画のポイント、高の高い人工等歌音を指して、2013.82.92 東京 国内学会 土馬神郎、新の名とない大工事歌音画のための方象・半泉学的を中心に、第6回は印造加速/解末派送研究会 2013.82.93 東京 国内学会 土馬神郎、歌血症がおる病治が変わまずいの大学・大学の名の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の	国内学会	
国内学会 志馬傳眺、塚珠運の地面治島、第回日本集中治療薬学会近勤地方会教育講家。2013.7.6、神戸 国内学会 志馬傳殿、小阪直生、中西韓社、藤太結美子、山田寺司、藤田登入、小別島内が自由企の解析、第4回MRSAフォーラム、2013.7.1.4、東京 10万学会 2013.7.1.4、東京 10万学会 2013.7.1.4、東京 10万学会 2013.7.1.4、東京 2013.7.1.2、京都 10万学会 2013.7.1.2、江東 2013.7.1.2、京都 10万学会 2013.7.1.2、江東 2013.7.1.2、京都 10万学会 2013.7.2、江東 2013.7.2、京都 10万学会 2013.7.2、日本 10万学会 2013.7.3、日本 10万学会 2013.7.3、日本 10万学会 2013.7、日本 10万学会 2013.7.3、日本 10万学会 2013.7.3、日本 10万学会 2013.7.3、日本 10万学会 2013.7、日本 10万	国内学会	
国内学会	国内学会	柳澤雅美, 志馬伸朗. 人工呼吸器関連事象 (VAE) サーベイランスの試み. 第41回日本集中治療医学会学術集会, 2014.2.27, 京都
国内学会	国内学会	志馬伸朗. 感染症の抗菌治療. 第回日本集中治療医学会近畿地方会教育講演. 2013.7.6, 神戸
国内学会	国内学会	志馬伸朗, 小阪直史, 中西雅樹, 藤友結美子, 山田幸司, 藤田直久. 小児院内菌血症の解析. 第4回MRSAフォーラム. 2013.7.14, 東京
国内学会	国内学会	
国内学会 表馬伸睨 用作物の参染症管理:予防から治療まで、第3項鹿児島眉術育管理研究会、2013.8.9、鹿児島 生馬伸睨 用作物の参究症管理:予防から治療まで、第3項鹿児島眉術育管理研究会、2013.8.9、鹿児島 生馬伸睨 新を駆しない人工呼吸管理のボイント、質の高い人工呼吸管理を目指して、2013.8.24、佐賀 国内学会 支馬伸睨 新を駆しない人工呼吸管理のボイント、質の高い人工呼吸管理を目指して、2013.8.24、佐賀 国内学会 支馬伸朗 新を駆しない人工呼吸管理のための方策・粉炎予防を中心に、第6目が温温が湿力療養が洗りまた。 大阪 国内学会 支馬伸朗 致血症における抗菌療法の実践 第10回関西感染症診療フォーラム、2013.9.27、大阪 国内学会 支馬伸朗 発動の部の生効地 加古川西市民病院感染対常満底。2013.9.24、加古川田内学会 支馬伸朗 ・亜定数百年に対する抗菌が実施 第2回室域を対象が対策温底。2013.9.24、加古川 国内学会 支馬伸朗 ・主に対する抗菌が衰 第2回室域を985を15・7・2013.9.24、加古川 国内学会 支馬伸朗 ・表に対する抗菌が衰 第2回室域を986を17・7・2013.9.24、加古川 国内学会 支馬伸朗 ・恵定療の前後、第3回巡査質を医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 支馬伸郎 ・東定性療養的後、第3回巡査質验医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 支馬伸郎 ・東定性療養的後、第3回巡査質验医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 支馬伸郎 教立症治療を11・40・40・40・40・40・40・40・40・40・40・40・40・40・	国内学会	志馬伸朗. 最新の敗血症(sepsis)診療:定義からガイドラインまで. 伏見医師会ランチョンセミナー. 2013.7.12, 京都
国内学会 志馬伸朗、亜企患者の生体反応と患者管理のポイント、日総研セミナー、2010.8.17、大阪 国内学会 志馬伸朗、動を悪くしない人工呼吸管理のポイント、日総研セミナー、2010.8.17、大阪 国内学会 志馬伸朗、新を悪くしない人工呼吸管理のポイント、自の高い人工呼吸管理を目指して、2013.8.24、佐賀 国内学会 志馬伸朗、新生児・小児の呼発生理に基づく呼吸療法、学会合同呼吸療法上接定議習金、2013.8.27。東京 国内学会 志馬伸朗、殿血症における抗菌療法の実践、第10回隣西感染症診療フォーラム、2013.9.7、大阪 国内学会 志馬伸朗、致血症の抗菌療法〜SSCG2012を深く読む、第2回信件収血症セミナー、2013.9.7、大阪 国内学会 志馬伸朗、致急の評価より処、加古川語市民病院整治対策議定、2013.224、加古川 国内学会 志馬伸朗、発動の評価より処、加古川語市民病院整治対策議定、2013.224、加古川 国内学会 志馬伸朗、医血症治療者能能、第2回宮域sepsisセミナー、2013.9.27、他台 国内学会 志馬伸朗、欧血症治療者解験、第39回滋質教急医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 志馬伸朗、欧血症治療者解析と、第39回滋質教急医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 志馬伸朗、欧血症治療者が終しまり、第回長野ごども病院院内研修会、2013.10.4、安置野 国内学会 志馬伸朗、敵立症治療者がドライン〜日本の小児医療期場でどう使うか、成育医療センター教急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、教育化性的ご難症がよる、第6回抗菌薬退正使用UPDATE、2013.10.5、京都 国内学会 志馬伸朗、教育性自治難症例は抗菌薬で予後を改善できるか、2014、第12回呼吸器療染症フォーラム、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、松的SA感染症のpirfall、各川県内科医会呼吸器疾患認証会、2013.10.24、高松 国内学会 志馬伸朗、政血症治療成績を高めるための当ツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10.30、同山 国内学会 志馬伸朗、取血症治療があるための当ツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10.30、同山 国内学会 志馬伸朗、見かいたが大き方々が大き方々が支援が正確定診療のポイント2013.11.11、東京 国内学会 志馬伸郎、が決り取れを治療・ガイドラインを中心に、第3回年はどラシシンボデウム、2013.11.11、東京 国内学会 志馬伸郎、外り取血症治療のが、後患赤十字病院院内感染と 2013.11.11、東京 国内学会 志馬伸郎、小り取血症治療のか、徳島赤十字病院院内感染会、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸郎、SpO2とCRP、JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸郎、なぜ、体温を測るのか、徳島赤十字病院院内臓液会、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸郎、SpO2とCRP、JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸郎、アルルなどとアルアの重産を乗る対応・火田を併せショックを対象に、第58回京都介ブレホスピタルが高度を検討会替別議済、2014.11.29、京原	国内学会	
国内学会 志馬神朗、新を悪くしない人工呼吸管理のポイント、幾の高い人工呼吸管理を目指して、2013.8.24、佐賀 国内学会 志馬神朗、衛生児・小児の呼吸生理に基づく呼吸療法、3学会合同呼吸療法工語定議習会、2013.8.29、東京 田内学会 志馬神朗、衛の高い安全な人工呼吸管理のための方策・持续予防を中心に、第6回加温加湿・管素療法研究会、2013.9.7、大阪 国内学会 志馬神朗、殿血症の抗菌療法へSSCG2012を深く読む、第2回信別販血症セミナー、2013.9.2、大阪 国内学会 志馬神朗、敗血症の抗菌療法へSSCG2012を深く読む、第2回信別販血症セミナー、2013.9.2、大阪 国内学会 志馬神朗、免熱の評価と対域、加古川西市民病院感染対境満座、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬神朗、死熱の評価と対域、加古川西市民病院感染対境満座、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬神朗、形然の評価と対域、加古川西市民病院感染対境満定、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬神朗、民山における発熱評価と体温管理・クリティカルケアゼミナー・加大宮、2013.9.28、大宮 国内学会 志馬神朗、繁重を勤者の研究会の大き、2013.9.28、大津 国内学会 志馬神朗、東症診療の人工呼吸管理を再する、第6回抗震薬適正使用UPDATE、2013.10.5、京都 国内学会 志馬神朗、東血症診療ガイドラインへ日本の小児医療場所できの使うか、成育医療センター教治診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬神朗、欧血症診療ガイドラインへ日本の小児医療場所ときのから、成育医療センター教治診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬神朗、教加性管節が難症例は抗菌薬で予をな改善できるか。2049、第1辺回呼吸器の染化フォーラム、2013.10.119、東京 国内学会 志馬神朗、股血症診療の活を高めるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10.3 の、岡山 国内学会 志馬神朗、財イドラインは手に入れた~その後どうするか:飲血症診療のポイント2013、第6回宗滋グリティカルケアヤングアカデミー、2013.11、3、783 エ馬神郎、サブインは手に入れた~その後どうするか:飲血症診療のポイント2013、第6回宗滋グリティカルケアヤングアカデミー、2013.13、13、第8回内学会 志馬神朗、シンブル院内感染管理・新古質病院病の染対境研修会、2013.11.17、東京 国内学会 志馬神朗、シンブル院内感染管理 新古質病院病の染対境研修会、2013.11.11、免部 国内学会 志馬神朗、シンブル院内感染管理 新古養病院内の染の液染が液の形を全、2013.11.28、東京 志馬神朗、アレホスピタルでの重症感染症対応へ致血症性ションクを対象に、真ち回京都希ブレホスピタルでの重症感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常護、凡長野厚生主安量総合病院感染対策研修会、2014.1.16、池田町 志馬神朗、アレホスピタルでの重症感染症診察の基本~ベッド・2013.13、東京 志馬神朗、アレホスピタルでの重症感染症診察の基本~ベッド・2013.13、東京 志馬神朗、アレホスピタルでの重症感染症診察のはアレス・2013.12.13、東京 志馬神朗、アレホスピタルでの重症感染症診察のはアレス・2013.12.13、東京 志馬神朗、アレホスピタルでの重症感染症診察のはアレス・2013.12.13、東京 本馬神郎、アレホスピタルでの重症感染症診察のなどの対域を発症でアレス・2013.11.24、東京 本馬神郎、アレス・2013.12.12.12.12.12.12.12.12.12.12.12.12.12.	国内学会	志馬伸朗. 周術期の感染症管理: 予防から治療まで. 第3回鹿児島周術期管理研究会. 2013.8.9, 鹿児島
国内学会 志馬神郎、新生児・小児の呼吸生理に基づく呼吸療法。3学会合同呼吸療法上設定講習会、2013.8.29、東京 国内学会 志馬神郎、野の高い安全な人工呼吸管理のための方策~特炎予防を中心に、第6回加温加温/酸素療法研究会、2013.9.7、大阪 国内学会 志馬神郎、関血症における抗菌療法の実践、第10回関西感染症診療フォーラム、2013.9.7、大阪 国内学会 志馬神郎、敗血症の抗菌療法~SSCG2012を深く悪し、第2回信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	国内学会	志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2010.8.17, 大阪.
国内学会 志馬伸朗、質の高い安全な人工呼吸管理のための方策~特炎予防を中心に、第6回加温加湿/酸素療法研究会、2013.9.7、大阪 国内学会 志馬伸朗、敗血症における抗菌療法の実践、第10回関西感染症診療フォーラム、2013.9.7、大阪 国内学会 志馬伸朗、敗血症の抗菌療法~SSCG2012を深く読む、第2回信州敗血症セミナー、2013.9.20、松本 国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処、加古川面市民病院感染対策講座、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処、加古川面市民病院感染対策講座、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬伸朗、患薬中朗、KUIにおける発熱評価と体温管理、クリティカルケアセミナー・た。2013.9.28、大宮 国内学会 志馬伸朗、志馬伸朗、能力・研究をしよう、第回長野ごとも病院院内研修会、2013.10.4、安曇野 国内学会 志馬伸朗、論文を読もう・研究をしよう、第回長野ごとも病院院内研修会、2013.10.4、安曇野 国内学会 志馬伸朗、強立症診療力イドラインへ日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター教急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、敗血症診療力イドラインへ日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター教急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、敗血症診療が打不・ラインへ日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター教急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、欧田証治療が基本あるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10、3.0、岡山 国内学会 志馬伸朗、欧田証治療が基本あるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10、3.0、岡山 国内学会 志馬伸朗、欧田証治療が表がオイドラインを中心に、第3回キュビシンシンボジウム、2013.11.5、千葉 国内学会 志馬伸朗、シンブル院内感染管理、新古質病院院内感染対策研修会、2013.11.11、東京 国内学会 志馬伸朗、シンブル院内感染管理、新古質病院院内感染対策研修会、2013.11.11、東京 国内学会 志馬伸朗、Socontail Infections in the KUL Multiprofessional critical care review course、2013.11.23、東京 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を割るのか、後島赤十学病院院内講会、2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を割るのか、後島赤十学病院院内講会、2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を割るのか、後島赤十学病院内護済・2013.11.28、東京 志馬仲郎・森で、全球音楽の多なイント、2013.11.28、東京 志馬仲郎・森で、全球音楽の多なイント、2013.11.28、東京 志馬仲郎・森で、体温を割るのから、き馬仲郎・変りなどにRP、JSEPTICセミナー・京都セブシスフォーラム、2013.11.28、東京 志馬仲郎・森で、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	国内学会	志馬伸朗. 肺を悪くしない人工呼吸管理のポイント. 質の高い人工呼吸管理を目指して. 2013.8.24, 佐賀
国内学会 志馬伸朗 敗血症における抗菌療法の実践 第10回関西感染症参療フォーラム、2013.9.7、大阪 国内学会 志馬伸朗 敗血症の抗菌療法~SCC2012を深く誘む、第2回信州敗血症セミナー、2013.9.20、松本 国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処、加古川西市民病院感染対策講座、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処、加古川西市民病院感染対策講座、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処、加古川西市民病院感染対策講座、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬伸朗、重症財政症に対する抗菌治療、第2回宮城sepsisセミナー、2013.9.27、仙台 国内学会 志馬伸朗、敗血症治療最制息、第39回盗資效急医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 志馬伸朗、敵なを読む・研究をしよう、第回長野こども病院院内研修会、2013.10.4、安豊野 国内学会 志馬伸朗、敵血症治療者制息、第39回盗資效急医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 志馬伸朗、政血症治療がガイドライン~日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター教急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、政血症治療がガイドライン~日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター教急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、政血症治療がガイドラインを引張の著訳できるが、2VAP、第13回呼吸器を決症フォーラム、2013.10.19、東京 国内学会 志馬伸朗、敗血症治療の経療のおめのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10、30、同山 国内学会 志馬伸朗、設加を治療が成場を高めるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10、30、同山 国内学会 志馬伸朗、別イドラインは手に入れた~その後とうするが、敗血症診療のポイント 2013. 第6回京滋グリティカルケアヤングアカテミー・2013.11.9、京都 国内学会 志馬伸朗、シンブル院内感染管理、新古質病院院内感染対策研修会、2013.11.11、久留米 国内学会 志馬伸朗、Nosocomial infections in the ICU、Multiprofessional critical care review course、2013.11.23、東京 国内学会 志馬伸朗、かば、体温を測るのか、徳島赤十字病院院内護済金、2013.11.12、小瓜島 コ内学会 志馬伸朗、かば、体温を測るのか、徳島赤十字病院院内護済金、2013.11.12、東京 国内学会 志馬伸朗、即じなど、大田の学会 本の中の学の主馬伸郎、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、2013.91.3、東京 玉馬伸郎、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、1203.91.3、東京 コ内学会 志馬伸郎、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、2013.91.3、東京 ま馬伸郎、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、1203.91.3、東京 ま馬伸郎、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、2013.91.3、東京 ま馬伸郎、重症患者の生体反応と患者で生からが見ばられていた。2013.11.12、東京島 国内学会 志馬伸郎、重症患者が診察が過去ペペットプラム、2013.11.12、東京島 コ内学会 志馬伸郎、重症患者が診察が過去ペペットプラム、2013.12.4、京都 コーラ・スロス・11.12、東京 コ内学会 志馬伸郎、重症患者が診察が過去やイントラム・2013.12.8、東京 コ内学会 志馬伸郎、重症患者を発症診療の基本ペットプラム・2013.12.8、東京 コ内学会 志馬伸郎、重症患者を発症診療の基本ペットプラム・2013.12.8、東京	国内学会	志馬伸朗. 新生児・小児の呼吸生理に基づく呼吸療法. 3学会合同呼吸療法士認定講習会. 2013.8.29;東京
国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処、加吉川西市民病院総染対策議座、2013-924、加古川 国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処、加吉川西市民病院総染対策議座、2013-924、加古川 国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処、加吉川西市民病院総染対策議座、2013-924、加古川 国内学会 志馬伸朗、患馬伸朗、KUにおける発熱評価と体温管理、クリティカルケアセミナーin大宮、2013-928、大宮 国内学会 志馬伸朗、悲馬伸朗、KUにおける発熱評価と体温管理、クリティカルケアセミナーin大宮、2013-928、大宮 国内学会 志馬伸朗、惣加産治療最前線、第39回盗質教急医療研究会、2013-928、大津 国内学会 志馬伸朗、整立を読むも・研究をしよう、第回長野とども病院院内研修会、2013.10.4、安曇野 国内学会 志馬伸朗、郵金肺炎の人工呼吸管理を再考する。第6回抗菌薬適正使用UPDATE、2013.10.5、京都 国内学会 志馬伸朗、敗加症治療がドライン~日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター教急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、敗加症治療がドライン~日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター教急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、既和産治療成績を高めるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10。30、両山 国内学会 志馬伸朗、財の血症治療へガイドラインを中心に、第3回キュビシンシ・ボジウム、2013.11.5、千葉 国内学会 志馬伸朗、カイドラインは手に入れた~その後どうするか:飲血症治療のボイント2013、第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー、2013.11.9、京都 志馬伸郎、シンブル院内感染管理、新古質病院院内感染対策研修会、2013.11.11、東京 志馬伸郎、シンブル院内感染管理、新古質病院院内感染対策研修会、2013.11.11、東京 志馬伸郎、からなの加速に整めのか・後患赤十字病院院内構造会、2013.11.11、東京 志馬伸郎、小児政血症診療のための推奨、第12回小児集中治療ワークショップ、2013.11.17、東京 志馬伸郎、SPO2とCRP、JSEPTIC セミナー/京都七アシスフォーラム、2013.11.24、京都 国内学会 志馬伸郎、野の2とCRP、JSEPTIC セミナー/京都七アシスフォーラム、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸郎、野の2とCRP、JSEPTIC セミナー/京都七アシスフォーラム、2013.11.28、東京 玉内学会 志馬伸郎、重定患者の生体反応と患者管理のポイント、日総和セミナー、2013.128、東京 玉内学会 志馬伸郎、野の2とCRP、JSEPTIC セミナー/京都でパント、1203.9.13、東京 志馬伸郎、野立よび2014.1.16、池田町 志馬伸郎、ガレホスピタルでの重症感染症対応へ敗血症性ショックを対象に、第58回京都府プレホスピタル教皇医療検討会特別溝流、2014.1.29、京都	国内学会	志馬伸朗. 質の高い安全な人工呼吸管理のための方策~肺炎予防を中心に. 第6回加温加湿/酸素療法研究会. 2013.9.7, 大阪
国内学会 志馬伸朗、発熱の評価と対処。加古川西市民病院感染対策議座、2013.9.24、加古川 国内学会 志馬伸朗、重産敗血症に対する抗病治療、第2回宮城sepsisセミナー、2013.9.27、仙台 国内学会 志馬伸朗、志馬伸朗、にびにおける発熱肝価と体温管理・クリティカルケアセミナーin大宮、2013.9.28、大宮 国内学会 志馬伸朗、表面性的。 第39回滋賀教象医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 志馬伸朗、強立を誇もう・研究をしよう。第回長野でども病院院内研修会、2013.10.4、安曇野 国内学会 志馬伸朗、強立を誇もう・研究をしよう。第回長野でども病院院内研修会、2013.10.4、安曇野 国内学会 志馬伸朗、東症肺炎の人工呼吸管理を再考する。第6回抗菌薬道正使用UPDATE、2013.10.5、京都 国内学会 志馬伸朗、政血症診療ガイドライン~日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター救急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、教訓前性菌分離症例は抗菌薬で予後を改善できるか・2VAP、第13回呼吸器感染症フォーラム。2013.10.19、東京 国内学会 志馬伸朗、般血症治療の調を高めるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10。30、岡山 国内学会 志馬伸朗、最新の敗血症治療へガイドラインを中心に、第3回キュビシンシンボジウム、2013.11.5、千葉 国内学会 志馬伸朗、ガイドラインは手に入れた~その後どうするか・取血症診療のポイント2013.第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー、2013.11.9、京都 コ内学会 志馬伸朗、ハリルの底内感染管理・新古質病院院内感染対策研修会、2013.11.11、人留米 国内学会 志馬伸朗、小り収め血症診療のための推奨、第12回小児集中治療ワークショップ、2013.11.17、東京 国内学会 志馬伸朗、Nosocomial infections in the ICU、Multiprofessional critical care review course、2013.11.23、東京 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を測るのか、徳島赤十字病院院内護漢金、2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗、のSocomial infections in the ICU、Multiprofessional critical care review course、2013.11.23、東京 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を測るのか、徳島赤十字病院内護議会、2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を測るのか、徳島赤十字病院内・高波之、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸朗、野の2とCFR、JSEPTIC・セミナー宗都セブシスフォーラム、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸朗、野の2とCFR、JSEPTIC・セミナー宗都セブシスフォーラム、2013.12.8、東京 国内学会 志馬伸朗、野の2とCFR、JSEPTIC・セミナー宗都セブメスフォーラム・2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸朗、野の2とCFR、JSEPTIC・セミナー宗都セブシスフォーラム・2013.11.28、東京	国内学会	志馬伸朗. 敗血症における抗菌療法の実践. 第10回関西感染症診療フォーラム. 2013.9.7, 大阪
国内学会 志馬伸朗、重症敗血症に対する抗菌治療、第2回宮城sepsisセミナー、2013.9.27、仙台 国内学会 志馬伸朗、恵馬伸朗、ICUにおける発熱評価と体温管理、クリティカルケアセミナーin大宮、2013.9.28、大宮 国内学会 志馬伸朗、敗血症治療最前線、第39回滋賀救急医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 志馬伸朗、敗血症治療最前線、第39回滋賀救急医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 志馬伸朗、論立を診能う・研究をしよう。第回長野こども病院院内研修会、2013.10.4、安曇野 国内学会 志馬伸朗、単症肺炎の人工呼吸管理を再考する。第6回抗菌薬道正使用UPDATE、2013.10.5、京都 国内学会 志馬伸朗、教育に関係を表している。2013.02、2	国内学会	志馬伸朗. 敗血症の抗菌療法~SSCG2012を深く読む. 第2回信州敗血症セミナー. 2013.9.20, 松本
国内学会 志馬伸朗、	国内学会	志馬伸朗. 発熱の評価と対処. 加古川西市民病院感染対策講座. 2013.9.24, 加古川
国内学会 志馬伸朗、敗血症治療最前線、第39回滋賀救急医療研究会、2013.9.28、大津 国内学会 志馬伸朗、論文を誘もう・研究をしよう、第回長野ごども病院院内研修会、2013.10.4、安曇野 国内学会 志馬伸朗、論文を誘もう・研究をしよう、第回長野ごども病院院内研修会、2013.10.4、安曇野 国内学会 志馬伸朗、重症肺炎の人工呼吸管理を再考する、第 6 回抗菌薬適正使用UPDATE、2013.10.5、京都 国内学会 志馬伸朗、歌血症診療ガイドライン~日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター救急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、解RSA感染症のpitfalls、香川県内科医会呼吸器疾患談話会、2013.10.24、高松 国内学会 志馬伸朗、敗血症治療成績を高めるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10、30、岡山 国内学会 志馬伸朗、敷血症治療の減を高めるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10、30、岡山 国内学会 志馬伸朗、ガイドラインは手に入れた~その後どうするか:敗血症診療のポイント2013.11.5、千葉 国内学会 志馬伸朗、ガイドラインは手に入れた~その後どうするか:敗血症診療のポイント2013.11.5、赤軍 国内学会 志馬伸朗、ツンブル院内感染管理、新古賀病院院内感染対策研修会、2013.11.11、久留米 国内学会 志馬伸朗、ハアドラインは手に入れた~その後どうするか:東西症診療のポイント2013.11.17、東京 国内学会 志馬伸朗、かりための推奨、第12回小児集中治療ワークショップ、2013.11.17、東京 国内学会 志馬伸朗、Nosocomial infections in the ICU、Multiprofessional critical care review course、2013.11.23、東京 国内学会 志馬伸朗、SPO2とCRP、JSEPTICセミナー/京都セブシスフォーラム、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸朗、雪症患者の生体反応と患者管理のポイント、日総研セミナー、2013.12.14、京都 国内学会 志馬伸朗、雪症患者の生体反応と患者管理のポイント、日総研セミナー、2013.12.8、東京 国内学会 志馬伸朗、ボシリスト、2013 World sepsis day関連イベント、2013.9.13、東京	国内学会	志馬伸朗. 重症敗血症に対する抗菌治療. 第2回宮城sepsisセミナー. 2013.9.27, 仙台
国内学会 志馬伸朗. 論文を読もう・研究をしよう. 第回長野こども病院院内研修会. 2013.10.4, 安曇野 国内学会 志馬伸朗. 重症肺炎の人工呼吸管理を再考する. 第6回抗菌薬適正使用UPDATE, 2013.10.5, 京都 国内学会 志馬伸朗. 敗血症診療ガイドライン~日本の小児医療現場でどう使うか. 成育医療センター救急診療科セミナー. 2013.10.11, 東京 国内学会 志馬伸朗. 敗血症診療がイドライン~日本の小児医療現場でどう使うか. 成育医療センター救急診療科セミナー. 2013.10.11, 東京 国内学会 志馬伸朗. 薬剤耐性菌分離症例は抗菌薬で予後を改善できるか. 2.VAP. 第13回呼吸器感染症フォーラム. 2013.10.19, 東京 国内学会 志馬伸朗. 敗血症治療成績を高めるためのコツ. Okayama Sepsis Forum. 2013.10. 30, 岡山 国内学会 志馬伸朗. 最新の敗血症治療へガイドラインを中心に、第3回キュビシンシンボジウム. 2013.11.5, 千業 国内学会 志馬伸朗. ガイドラインは手に入れた~その後どうするか: 敗血症診療のポイント2013. 第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー. 2013.11.9, 京都 国内学会 志馬伸朗. ツブル院内感染管理. 新古賀病院院内感染対策研修会. 2013.11.11, 久留米 国内学会 志馬伸朗. 小児敗血症診療のための推奨. 第12回小児集中治療ワークショップ. 2013.11.17, 東京 国内学会 志馬伸朗. かど、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内臓演会. 2013.11.28, 小松島 国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内臓演会. 2013.11.28, 小松島 国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内臓演会. 2013.11.28, 小松島 国内学会 志馬伸朗. が、クロスト 2013 World sepsis day関連イベント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. 『ネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.91.3, 東京 国内学会 志馬伸朗. パネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.91.3, 東京 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に、第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. 志馬伸朗. ICUにおける発熱評価と体温管理. クリティカルケアセミナーin大宮, 2013.9.28, 大宮
国内学会 志馬伸朗、重症肺炎の人工呼吸管理を再考する、第6回抗菌業適正使用UPDATE、2013.10.5、京都 国内学会 志馬伸朗、敗血症診療ガイドライン〜日本の小児医療現場でどう使うか、成育医療センター救急診療科セミナー、2013.10.11、東京 国内学会 志馬伸朗、薬剤耐性菌分離症例は抗菌薬で予後を改善できるか:2VAP、第13回呼吸器感染症フォーラム、2013.10.19、東京 国内学会 志馬伸朗、MRSA感染症のpitfalls、香川県内科医会呼吸器疾患談話会、2013.10.24、高松 国内学会 志馬伸朗、敗血症治療成績を高めるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10、30、岡山 国内学会 志馬伸朗、最新の敗血症治療〜ガイドラインを中心に、第3回キュビシンシンポジウム、2013.11.5、千葉 国内学会 志馬伸朗、ガイドラインは手に入れた〜その後どうするか:敗血症診療のポイント2013、第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー、2013.11.9、京都 国内学会 志馬伸朗、シンブル院内感染管理、新古賀病院院内感染対策研修会、2013.11.11、久留米 国内学会 志馬伸朗、シンブル院内感染管理、新古賀病院院内感染対策研修会、2013.11.11、久留米 国内学会 志馬伸朗、か見敗血症診療のための推奨、第12回小児集中治療ワークショップ、2013.11.17、東京 国内学会 志馬伸朗、SpO2とCRP、JSEPTICセミナー/京都セブシスフォーラム、2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を測るのか、徳島赤十字病院院内講演会、2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を測るのか、徳島赤十字病院院内講演会、2013.11.28、東京 国内学会 志馬伸朗、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、日総研セミナー、2013.12.14、京都 国内学会 志馬伸朗、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、日総研セミナー、2013.12.8、東京 国内学会 志馬伸朗、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、2013.9.13、東京 国内学会 志馬伸朗、重症患者の生体反応と患者管理のポイント、2013.9.13、東京 国内学会 志馬伸朗、ボネリスト、2013 World sepsis day関連イベント、2013.9.13、東京 国内学会 志馬伸郎、丁レホスピタル教急医療検討会特別講演、2014.1.29、京都	国内学会	志馬伸朗. 敗血症治療最前線. 第39回滋賀救急医療研究会, 2013.9.28, 大津
国内学会 志馬伸朗. 敗血症診療ガイドライン〜日本の小児医療現場でどう使うか. 成育医療センター教急診療科セミナー. 2013.10.11, 東京 国内学会 志馬伸朗. 薬剤耐性菌分離症例は抗菌薬で予後を改善できるか: 2.VAP. 第13回呼吸器感染症フォーラム. 2013.10.19, 東京 国内学会 志馬伸朗. MRSA感染症のpitfalls, 香川県内科医会呼吸器疾患談話会. 2013.10.24, 高松 国内学会 志馬伸朗. 敗血症治療成績を高めるためのコツ. Okayama Sepsis Forum. 2013.10. 30, 岡山 国内学会 志馬伸朗. 最新の敗血症治療へガイドラインを中心に. 第3回キュビシンシンポジウム. 2013.11.5, 千葉 国内学会 志馬伸朗. ガイドラインは手に入れた〜その後どうするか: 敗血症診療のポイント2013. 第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー. 2013.11.9, 京都 国内学会 志馬伸朗. シンブル院内感染管理. 新古賀病院院内感染対策研修会. 2013.11.11, 久留米 国内学会 志馬伸朗. 小児敗血症診療のための推奨. 第12回小児集中治療ワークショップ. 2013.11.17, 東京 国内学会 志馬伸朗. Nosocomial infections in the ICU. Multiprofessional critical care review course. 2013.11.23, 東京 国内学会 志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セブシスフォーラム. 2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 雪に、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内講演会. 2013.11.28, 小松島 国内学会 志馬伸朗. 野の2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セブシスフォーラム. 2013.12.18, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応〜敗血症性ショックを対象に. 第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. 論文を読もう・研究をしよう. 第回長野こども病院院内研修会. 2013.10.4, 安曇野
国内学会 志馬伸朗. 薬剤耐性菌分離症例は抗菌薬で予後を改善できるか: 2.VAP. 第13回呼吸器感染症フォーラム. 2013.10.19, 東京 国内学会 志馬伸朗. MRSA感染症のpitfalls, 香川県内科医会呼吸器疾患談話会. 2013.10.24, 高松 国内学会 志馬伸朗. 敗血症治療成績を高めるためのコツ. Okayama Sepsis Forum. 2013.10. 30, 岡山 国内学会 志馬伸朗. 最新の敗血症治療~ガイドラインを中心に、第3回キュビシンシンポジウム. 2013.11.5, 千葉 国内学会 志馬伸朗. ガイドラインは手に入れた~その後どうするか: 敗血症診療のポイント2013. 第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー. 2013.11.9, 京都 国内学会 志馬伸朗. シンプル院内感染管理. 新古賀病院院内感染対策研修会. 2013.11.11, 久留米 国内学会 志馬伸朗. 小児敗血症診療のための推奨. 第12回小児集中治療ワークショップ. 2013.11.17, 東京 国内学会 志馬伸朗. Nosocomial infections in the ICU. Multiprofessional critical care review course. 2013.11.23, 東京 国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内講演会. 2013.11.28, 小松島 国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内講演会. 2013.11.28, 小松島 国内学会 志馬伸朗. がネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 日総研セミナー. 2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重素悪感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常識. JA長野厚生連安曇総合病院感染対策研修会. 2014.1.16, 池田町 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に. 第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. 重症肺炎の人工呼吸管理を再考する. 第6回抗菌薬適正使用UPDATE, 2013.10.5, 京都
国内学会 志馬伸朗. MRSA感染症のpitfalls, 香川県内科医会呼吸器疾患談話会. 2013.10.24, 高松 国内学会 志馬伸朗. 敗血症治療成績を高めるためのコツ. Okayama Sepsis Forum. 2013.10. 30, 岡山 国内学会 志馬伸朗. 最新の敗血症治療~ガイドラインを中心に. 第3回キュビシンシンポジウム. 2013.11.5, 千葉 国内学会 志馬伸朗. ガイドラインは手に入れた~その後どうするか: 敗血症診療のポイント2013. 第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー. 2013.11.9, 京都 国内学会 志馬伸朗. シンプル院内感染管理. 新古賀病院院内感染対策研修会. 2013.11.11, 久留米 国内学会 志馬伸朗. 小児敗血症診療のための推奨. 第12回小児集中治療ワークショップ. 2013.11.17, 東京 国内学会 志馬伸朗. Nosocomial infections in the ICU. Multiprofessional critical care review course. 2013.11.23, 東京 国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内講演会. 2013.11.28, 小松島 国内学会 志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム. 2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. 『ネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 『北京リスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 『北京リスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 『北京リスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 『北京リスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 コ内学会 志馬伸朗. 『北京リスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 コ内学会 志馬伸朗. 『北京リスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 コ内学会 志馬伸朗. 『北京リスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 コ内学会 志馬伸朗. 『北京リスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京	国内学会	志馬伸朗. 敗血症診療ガイドライン~日本の小児医療現場でどう使うか. 成育医療センター救急診療科セミナー. 2013.10.11, 東京
国内学会 志馬伸朗、 敗血症治療成績を高めるためのコツ、 Okayama Sepsis Forum、 2013.10、 30、 岡山 国内学会 志馬伸朗、 最新の敗血症治療~ガイドラインを中心に、 第3回キュビシンシンポジウム、 2013.11.5、 千葉 国内学会 志馬伸朗、 ガイドラインは手に入れた~その後どうするか: 敗血症診療のポイント 2013、 第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー、 2013.11.9、 京都 国内学会 志馬伸朗、 シンプル院内感染管理、 新古賀病院院内感染対策研修会、 2013.11.11、 久留米 国内学会 志馬伸朗、 小児敗血症診療のための推奨、 第12回小児集中治療ワークショップ、 2013.11.17、 東京 国内学会 志馬伸朗、 Nosocomial infections in the ICU、 Multiprofessional critical care review course、 2013.11.23、 東京 国内学会 志馬伸朗、 8p02とCRP、 JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム、 2013.12.14、 京都 国内学会 志馬伸朗、 雪症患者の生体反応と患者管理のポイント、 日総研セミナー、 2013.12.8、 東京 国内学会 志馬伸朗、 重症患者の生体反応と患者管理のポイント、 日総研セミナー、 2013.12.8、 東京 国内学会 志馬伸朗、 重症患者の生体反応と患者管理のポイント、 2013.9.13、 東京 国内学会 志馬伸朗、 ずネリスト、 2013 World sepsis day関連イベント、 2013.9.13、 東京 国内学会 志馬伸朗、 ずネリスト、 2013 World sepsis day関連イベント、 2013.9.13、 東京 国内学会 志馬伸朗、 ずネリスト、 2013 World sepsis day関連イベント、 2013.9.13、 東京 国内学会 志馬伸朗、 ずネリスト、 2013 World sepsis day関連イベント、 2013.9.13、 東京 国内学会 志馬伸朗、 ずネリスト、 2013 World sepsis day関連イベント、 2013.9.13、 東京	国内学会	志馬伸朗. 薬剤耐性菌分離症例は抗菌薬で予後を改善できるか: 2.VAP. 第13回呼吸器感染症フォーラム. 2013.10.19, 東京
国内学会 志馬伸朗、敗血症治療成績を高めるためのコツ、Okayama Sepsis Forum、2013.10、30、岡山 国内学会 志馬伸朗、最新の敗血症治療〜ガイドラインを中心に、第3回キュビシンシンポジウム、2013.11.5、千葉 国内学会 志馬伸朗、ガイドラインは手に入れた〜その後どうするか:敗血症診療のポイント2013、第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー、2013.11.9、京都 国内学会 志馬伸朗、シンブル院内感染管理、新古賀病院院内感染対策研修会、2013.11.11、久留米 国内学会 志馬伸朗、小児敗血症診療のための推奨、第12回小児集中治療ワークショップ、2013.11.17、東京 国内学会 志馬伸朗、Nosocomial infections in the ICU、Multiprofessional critical care review course、2013.11.23、東京 国内学会 志馬伸朗、なぜ、体温を測るのか、徳島赤十字病院院内講演会、2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗、5pO2とCRP、JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム、2013.12.14、京都 国内学会 志馬伸朗・重症患者の生体反応と患者管理のポイント、日総研セミナー、2013.12.8、東京 国内学会 志馬伸朗・重症患者の生体反応と患者管理のポイント、日総研セミナー、2013.12.8、東京 国内学会 志馬伸朗・重症患者の生体反応と患者管理のポイント、1013.9.13、東京 国内学会 志馬伸朗・プレホスピタルでの重症感染症診療の基本〜ベッドサイドの常識と非常識、JA長野厚生連安曼総合病院感染対策研修会、2014.1.16、池田町 国内学会 志馬伸朗・プレホスピタルでの重症感染症対応〜敗血症性ショックを対象に、第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演、2014.1.29、京都	国内学会	志馬伸朗. MRSA感染症のpitfalls, 香川県内科医会呼吸器疾患談話会. 2013.10.24, 高松
国内学会 志馬伸朗. ガイドラインは手に入れた~その後どうするか: 敗血症診療のポイント2013. 第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー. 2013.11.9, 京都		志馬伸朗. 敗血症治療成績を高めるためのコツ. Okayama Sepsis Forum. 2013.10. 30, 岡山
国内学会 志馬伸朗. ガイドラインは手に入れた~その後どうするか: 敗血症診療のポイント2013. 第6回京滋クリティカルケアヤングアカデミー. 2013.11.9, 京都 志馬伸朗. シンプル院内感染管理. 新古賀病院院内感染対策研修会. 2013.11.11, 久留米 国内学会 志馬伸朗. 小児敗血症診療のための推奨. 第12回小児集中治療ワークショップ. 2013.11.17, 東京 国内学会 志馬伸朗. Nosocomial infections in the ICU. Multiprofessional critical care review course. 2013.11.23, 東京 国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内講演会. 2013.11.28, 小松島 国内学会 志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム. 2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 雪症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. パネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に、第58回京都府プレホスピタル教急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都		本馬伸朗. 最新の敗血症治療~ガイドラインを中心に. 第3回キュビシンシンポジウム. 2013.11.5, 千葉
国内学会 志馬伸朗. シンプル院内感染管理. 新古賀病院院内感染対策研修会. 2013.11.11, 久留米 国内学会 志馬伸朗. 小児敗血症診療のための推奨. 第12回小児集中治療ワークショップ. 2013.11.17, 東京 国内学会 志馬伸朗. Nosocomial infections in the ICU. Multiprofessional critical care review course. 2013.11.23, 東京 国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内講演会. 2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム. 2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. パネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応〜敗血症性ショックを対象に.第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都		
国内学会 志馬伸朗. Nosocomial infections in the ICU. Multiprofessional critical care review course. 2013.11.23, 東京 国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか、徳島赤十字病院院内講演会、2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム、2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント、日総研セミナー、2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. パネリスト、2013 World sepsis day関連イベント、2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重差悪感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常識. JA長野厚生連安曇総合病院感染対策研修会、2014.1.16, 池田町 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に、第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演、2014.1.29, 京都	国内学会	
国内学会 志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内講演会. 2013.11.28、小松島 国内学会 志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム. 2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. パネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重羞悪感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常識. JA長野厚生連安曇総合病院感染対策研修会. 2014.1.16, 池田町 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に.第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. 小児敗血症診療のための推奨. 第12回小児集中治療ワークショップ. 2013.11.17, 東京
国内学会 志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム. 2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. パネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重差悪感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常識. JA長野厚生連安曇総合病院感染対策研修会. 2014.1.16, 池田町 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に.第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. Nosocomial infections in the ICU. Multiprofessional critical care review course. 2013.11.23, 東京
国内学会 志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム. 2013.12.14, 京都 国内学会 志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京 国内学会 志馬伸朗. パネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重差悪感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常識. JA長野厚生連安曇総合病院感染対策研修会. 2014.1.16, 池田町 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に.第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. なぜ、体温を測るのか. 徳島赤十字病院院内講演会. 2013.11.28、小松島
国内学会 志馬伸朗. パネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京 国内学会 志馬伸朗. 重差悪感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常識. JA長野厚生連安曇総合病院感染対策研修会. 2014.1.16, 池田町 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に.第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. SpO2とCRP, JSEPTICセミナー/京都セプシスフォーラム. 2013.12.14, 京都
国内学会 志馬伸朗. 重羞悪感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常識. JA長野厚生連安曇総合病院感染対策研修会. 2014.1.16, 池田町 国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応~敗血症性ショックを対象に.第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. 重症患者の生体反応と患者管理のポイント. 日総研セミナー. 2013.12.8, 東京
国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応〜敗血症性ショックを対象に.第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都		志馬伸朗. パネリスト. 2013 World sepsis day関連イベント. 2013.9.13, 東京
国内学会 志馬伸朗. プレホスピタルでの重症感染症対応〜敗血症性ショックを対象に.第58回京都府プレホスピタル救急医療検討会特別講演. 2014.1.29, 京都	国内学会	志馬伸朗. 重羞悪感染症診療の基本~ベッドサイドの常識と非常識. JA長野厚生連安曇総合病院感染対策研修会. 2014.1.16, 池田町
国内学会 志馬伸朗. 重症MRSA感染症の抗菌療法~リネゾリドの位置づけ~ザイボックスwebシンポジウム:Infection Gambit ver.2. 2014.1.28, 京都		
	国内学会	志馬伸朗. 重症MRSA感染症の抗菌療法~リネゾリドの位置づけ~ザイボックスwebシンポジウム:Infection Gambit ver.2. 2014.1.28, 京都

国内学会	志馬伸朗. 敗血症診療ガイドラインを踏まえた治療戦略. 敗血症治療セミナーin 金沢2014.2.10, 金沢
国内学会	志馬伸朗. 敗血症:最新の治療. 第13回感染症セミナー. 2014.2.6, 天理
国内学会	志馬伸朗. ②外科・救急領域. シンポジウム「世界の中における日本版ガイドライン」. 真菌症フォーラム第15回学術集会. 2014.2.8, 東京
国内学会	志馬伸朗. 臨床的に考える:救急・集中治療領域. 第12回キャンディン研究会. 2014.3.15, 東京
国内学会	志馬伸朗. 敗血症の診療GLと抗菌療法. ラジオNIKKEY感染症TODAY 2013.10.16

## □ 投稿論文など

#### 著者・タイトル・著書・雑誌名

Sakaguchi M, Shime N, Iguchi N, Kobayashi A, Takada K, Morrow LE. Effects of adherence to ventilator-associated pneumonia treatment guidelines on clinical outcomes. J Infect Chemother. 2013; 19(4):599-606.

Ishii S, Shime N (contributred equally as first authors), Shibasaki M, Sawa T. Ultrasound-guided radial artery catheterization in infants and small children. Pediatr Crit Care Med 2013; 14:471–473

Shime N, Hosokawa K, MacLaren G. Does cooling really improve outcomes in patients with septic shock? Am J Respir Crit Care Med 2013;187(11):1274-5.

Shime N, Maclaren G. Supplemental parenteral nutrition in critically ill patients. Lancet 2013; 381: 1715-1716

Nakayama Y, Shibasaki M, Shime N, Nakajima Y, Mizobe T, Sawa T. The RACHS-1 risk category can be a predictor of perioperative recovery in Asian pediatric cardiac surgery patients. J Anesth 2013;27(6);850-4

MacLaren G, Dodge-Khatami A, Dalton HJ; Writing Committee, MacLaren G, Dodge-Khatami A, Dalton HJ, Adachi I, Almodovar M, Annich G, Bartlett R, Bronicki R, Brown K, Butt W, Cooper D, Demuth M, D'Udekem Y, Fraser C, Guerguerian AM, Heard M, Horton S, Ichord R, Jaquiss R, Laussen P, Lequier L, Lou S, Marino B, McMullan M, Ogino M, Peek G, Pretre R, Rodefeld M, Schmidt A, Schwartz S, Shekerdemian L, Shime N, Sivarajan B, Stiller B, Thiagarajan R. Joint statement on mechanical circulatory support in children: a consensus review from the Pediatric Cardiac Intensive Care Society and Extracorporeal Life Support Organization. Pediatr Crit Care Med. 2013;14:S1-2.

Hashimoto S, Shime N. Evaluation of semi-quantitative scoring of Gram staining or semi-quantitative culture for the diagnosis of ventilator-associated pneumonia: a retrospective comparison with quantitative culture. J Intensive Care 2013, 1:2

Nakagawa S, Shime N. Respiratory rate criteria for pediatric systematic inflammatory response syndrome. Pediatr Crit Care Med. 2014;15(2):182.

志馬伸朗(編著). ARDSの治療戦略. 東京:羊土社, 2013

志馬伸朗(編著). 特集: 感染症診療のポイント. 救急医学38(2), 2014

志馬伸朗.ICU 患者の抗菌療法において初期経験的治療の適切性は予後に影響するか?讃井將満編著. 臨床に直結する集中治療のエビデンス. 文光堂. 東京, 2013

志馬伸朗. 小児呼吸管理中の鎮痛・鎮静. 植田育也編著. 徹底ガイド/小児の呼吸管理Q&A第2弾. 総合医学社. 東京, 2013

志馬伸朗. 小児における超音波ガイド下血管穿刺の実際. 坂本篤弘, 佐藤重仁編著. 麻酔科医に必要な超音波ガイド手技のポイントと教育 (臨床麻酔実践シリーズ). ライフメディコム. 東京, 2013

志馬伸朗. 疫学. ARDSの治療戦略. 東京:羊土社, 96-7, 2013

橋本壮志, 志馬伸朗. ARDS以外の患者にも肺庇護換気をすべきか?. ARDSの治療戦略. 東京:羊土社, 114-119, 2013

志馬伸朗、細川康二、腹臥位によるARDS生命予後改善~13年ぶりの快挙は、研究計画の勝利か?、ARDSの治療戦略、東京:羊土社、146-7、2013

田中博之, 志馬伸朗.  $\beta$ 刺激薬, テオフィリン製剤. ARDSの治療戦略. 東京: 羊土社, 146-7, 2013

志馬伸朗. PEEPの設定. ARDSの治療戦略. 東京: 羊土社, 146-7, 2013

志馬伸朗. 原因となる主な感染症と抗菌薬治療. 医療スタッフのための易しく解説!日本版敗血症ガイドライン. 東京: 秀潤社, 56-70, 2013

志馬伸朗. 鎮痛・鎮静. 小児救急医療の理論と実践. 公益社団法人日本小児科学会・日本小児救急医学会. 東京:編集室なるにあ, 138-145, 2013

志馬伸朗(分担執筆). 日本版敗血症診療ガイドライン. 一般社団法人日本集中治療医学会 sepsis registry委員会. 東京: 克誠堂出版, 2013

志馬伸朗. 抗菌療法. 集中治療専門医テキスト. 一般社団法人日本集中治療医学会. 東京:総合医学社, 2013

志馬伸朗. 8.呼吸管理2)その後のエビデンスと日本での活用. 敗血症(セプシス)救命治療の最前線, 大阪: 医薬ジャーナル社, 2014

志馬伸朗(分担執筆). 深在性真菌症の診断・治療ガイドライン2014. 深在性真菌症のガイドライン作成委員会. 東京:協和企画, 2014

志馬伸朗. 47. 集中治療(5) 小児集中治療. 天羽啓祐監修. 麻酔科学レビュー2013. 東京:総合医学社, 286-290, 2014

志馬伸朗. De-escalationは真に遂行可能か. 敗血症治療:一刻を争う現場での疑問に答える. 東京: 羊土社, 114-119, 2014

橋本壮志, 志馬伸朗, 橋本 悟. 急性呼吸促迫症候群に対する人工呼吸管理法の単施設・10年間の変遷. 日集中医誌 2013;20:287-8.

笠井正志, 尾内一信, 志馬伸朗, 平井克樹, 荒畑幸絵, 櫻井淑男, 吉本 昭, 国貞佳世. 小児呼吸器感染症ガイドライン2007上の最重症肺炎に対するわが国小児 集中治療領域における注射用抗菌薬使用状況. 小児感染免疫 2013;24:443-449

笠井正志, 志馬伸朗, 齋藤昭彦, 船木孝則, 庄司健介, 宮入 烈. 本邦複数の小児医療施設における血液培養採取量と検出率に関する観察研究. 感染症学雑誌87(5);620-3. 2013

志馬伸朗, 篠原貴子, 重見研司. 敗血症の認知度調査. 日集中医誌 2013;20:667-70.

林田賢史, 村上玄樹, 森崎 浩, 遠藤重厚, 大塚将秀, 志馬伸朗, 土井松幸, 西田 博, 福家 伸夫, 山本 剛, 羽鳥文麿, 松田晋哉, 日本集中治療医学会社会保険対策 委員会診断群分類に基づく診療報酬支払制度データから検討したICU収支の現状(第2報) 生命維持装置使用の有無と在室日数による解析. 日集中医誌 20(3):431-4, 2013

笠井正志, 志馬伸朗, 齋藤昭彦, 船木孝則, 庄司健介, 宮入 烈. 本邦複数の小児医療施設における血液培養採取量と検出率に関する観察研究.感染症学雑誌87(5),620-623, 2013

志馬伸朗, 羽鳥文麿, 氏家良人ら:日本集中治療医学会小児集中治療委員会. 日本での小児重症敗血症診療に関する合意意見. 日集中医誌 2014;21:67-88.

松田直之,織田成人,相引真幸,池田寿昭,今泉 均,遠藤重厚,落合亮一,小谷穣治,志馬伸朗,西田 修,野口隆之,平澤博之.日本集中治療医学会Sepsis Registry委員会日本集中治療医学会第1回Sepsis Registry調査 2007年の重症敗血症および敗血症性ショックの診療結果報告.日集中医誌 2013;20:329-34.

志馬伸朗. 超音波ガイド下血管穿刺②小児における超音波ガイド下血管穿刺の実際. 日臨麻会誌2013;33:461~469

志馬伸朗. ライン関連感染を回避するために麻酔科医ができること~小さな心配りの積み重ねがプロの証. LiSA 2013;20:438-443

八島正文, 山岸正明, 中山力恒, 影山京子, 志馬伸朗, 溝部俊樹, 黒光弘幸. 心臓手術の実際 外科医が語る術式、麻酔科医が語る心臓麻酔、臨床工学技士が語る体外循環法(第35回), Aortic translocation手術と体外循環法, 京都府立医科大学附属病院(解説). Clinical Engineering 2013;24:372-384

志馬伸朗. 小児集中治療患者への栄養管理. 臨床栄養 122;550-554, 2013

志馬伸朗. 日本版敗血症診療ガイドラインの解説 抗菌薬治療のポイントを中心に. Pharma Medica 31;109-115, 2013

志馬伸朗. 呼吸器感染症/肺炎/人工呼吸器関連肺炎(VAP). 日本臨床(別冊感染症症候群(第2版)[下]-症候群から感染性単一疾患までを含めて-). 187-191, 2013

志馬伸朗. Antimicrobial therapy. 救急医学37(11);1450-56, 2013

志馬伸朗. 人工呼吸器関連肺炎(VAP)の診断と治療. Medicina 50(12);1986-1990, 2013

志馬伸朗. 体温と予後予測. 救急医学37(9);1013-16, 2013

志馬伸朗. 人工呼吸器関連肺炎対策. 日本外科感染症学会雑誌10(2);225-31, 2013

志馬伸朗. 小児集中治療看護の要点. 呼吸器ケア(合同臨時増刊);78-87, 2013

志馬伸朗. 人工呼吸患者の栄養経路はどうやって決めるの?. 呼吸器ケア 11(9);917-925, 2013

志馬伸朗. 超音波ガイド下血管穿刺: 小児における超音波ガイド下血管穿刺の実際. 日本臨床麻酔学会雑誌33(3); 461-9, 2013

志馬伸朗. ステロイドは、"捨てるど?". 救急・集中治療25 (9-10);1173-1183, 2013

徳平夏子, 志馬伸朗. 重症インフルエンザ感染: インフルエンザ関連肺炎の診断治療を中心に. 小児内科45(11);1994-1998, 2013

笠井正志, 志馬伸朗. 小児重症感染症へのアプローチ. ICUとCCU37(12), 921-7, 2013

志馬伸朗. 人工呼吸器関連肺炎(VAP). 日本臨床 別冊感染症症候群(下);187-191,2013

志馬伸朗. 暴れ馬で流鏑馬は可能か~小児集中治療患者での薬物動態解析によるバンコマイシン治療. 日集中医誌20(4);561-3,2013

田畑裕一, 志馬伸朗. 人工呼吸管理における加温・加湿の考え方. こどもケア8(5);16-20, 2013

志馬伸朗、外科・救急領域における深在性真菌症の診断と治療:侵襲性カンジダ症の危険因子と診断、感染症道場2014;3(1):63-65

志馬伸朗. わからないものを受け入れ, 解決すること ~カテーテル挿入時消毒薬の選択. 日集中医誌 2014;21:65-66.

長谷川隆一, 志馬伸朗. 人工呼吸器関連肺炎 (ventilator-associated pneumonia, VAP) はゼロにできるか?日集中医誌 2014;21:9-16.

志馬伸朗. プレホスピタルにおける敗血症. 救急医学2014;38(2):236-8

志馬伸朗. いま, 解熱処置を再考する. エキスパートナース 2014;30(3):28-32

志馬伸朗. 麻酔科医が行う周術期感染予防. 麻酔2014;63(3):269-277

志馬伸朗. エディトリアル~感染症・救急医が対峙すべきペリル. 救急医学38(2):125, 2014

志馬伸朗. 巻頭言 (デバイス関連感染症). 日本外科感染症学会雑誌 10 (2):225-231, 2013

野口綾子, 志馬伸朗, 畑中祐也, 木村 彰夫, 橋本 悟. 京都府立医科大学附属病院のVAP予防策の変遷と現状. ヴィジュアル感染対策のポイント. 丸石感染対策NEWS. 2013.

植田育也、笠井正志、川崎達也、竹内宗之、志馬伸朗、阿部世紀、杉村洋子、中川聡. 小児インフルエンザ重症呼吸不全に対する診療戦略(2013 年6 月12 日版). 日本小児科学会ホームページhttp://www.jpeds.or.jp/uploads/files/influenza\_130730\_2.pdf

竹末芳生、三鴨廣繁、佐々木淳一, 志馬伸朗. 座談会:外科・救急・集中治療領域における真菌感染症の治療戦略. MSD株式会社